

画期的なアイデアで お客さまを驚かせたい

今も新しいアイデアが止まらない佐野会長

林薬品機械では、錠剤の外観を検査する機械を開発、製造しています。最初の製品は錠剤の傷や欠けなどを目視で検査する機械。人が目で検査するためセットが簡単で信頼性も高く、現在でも主流だそうです。当初は錠剤をベルトコンベアで運ぶ方式が主流でしたが、現在では傾斜した溝を振動させて錠剤を滑らせるトラフ式に変わりつつあります。途中の溝の形を工夫することで、錠剤は見事に反転し簡単に表裏を検査することができます。同じ目視の検査機でも、お客さまの要望に応えるための新しいアイデアがどんどん加えられています。

その他にも画像処理を応用して、一晩で100万錠もの錠剤を自動で検査できる機械や、カプセル剤の検査装置など、錠剤の形態やお客さまの規模や検査体制に合わせたさまざまな検査機を開発しています。常に前よりも良い製品を出し続ける、それがものづくりとしての林薬品機械の使命です。



ここがすごい!! 観察とひらめきから生まれる新製品

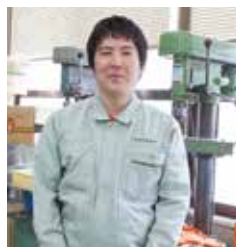
糖衣錠の直径を選別する機械を見ていた佐野進会長は、ときどき機械から飛び出してくる錠剤があることに気付きます。弾かれるのは表面に突起のある不良品でした。さっそく改良することで、直径と、突起のある不良品とを同時に選別する新しい機械が開発されました。興味を持って観察することで、開発のヒントを見逃さないことが重要。観察こそが新製品をつくり出すひらめきにつながります。



錠剤が生き物のようにひっくり返る検査装置



「やり方を工夫するのが楽しい」と言う倉田さん



「ものづくりが楽しそうで、IT関係の仕事から転職した」と言う合田さん

林薬品機械株式会社

www.hyk.co.jp

代表者 佐野 浩清
所在地 世田谷区船橋5-34-11
設立 昭和27年(1952年)
主な事業 製薬用機械製造
連絡先 ☎03-3302-3277



VOICE アイデアが浮かんだら すぐ実行

良い考えが浮かぶのは馬上、枕上、廁上(トイレ)だと、中国の故事にあります。「私の場合は枕上、朝起きたときです」と語る佐野会長。アイデアをものにするには、ひらめいたら時間をおかずにすぐ、その日のうちに実行してみることでそうです。



佐野進会長

世田谷地域

北沢地域

玉川地域

砧地域

烏山地域